第46回日本水環境学会年会優秀発表賞（クリタ賞）を受賞して

山梨大学大学院医学工学総合教育部　志　村　禎　章

はじめに，（公益財団）クリタ水・環境科学振興財団の皆様と年会優秀発表賞（クリタ賞）の関係者の皆様，当日ポスターを見てくださった皆様，共同研究者の皆様に厚くお礼申しあげます。協力していただいた方々には，今回の受賞が私からの恩返しになったかと思います。

私は，ネパール地下水の糞便汚染について研究しています。溶存化学成分や安定同位体，微生物濃度を用いて，地下水の糞便汚染源とその混入率を推定しています。現段階では，地下水中に下水が直接入っている可能性が高く，汚染源は下水と考えられますが，信頼できる混入率は数地点でしか算出できていないので，まだまだ計算の改良が必要です。しかし，数地点だけでも信頼できる混入率が算出できたことは，汚染メカニズム解明の第一歩になったと考えています。

今回，初めてのポスターセッションで，不安も多かったですが，周りの学生の熱い熱気に刺激を受け，私も大きな声で説明するよう心がけました。多くの方々にポスターの前で足を止めていただき，私の研究に興味を持っていただいたことはとても嬉しかったです。その際，貴重なご意見やご質問もいただき，私にとっても大変勉強になり，有意義な時間でした。さらに，クリタ賞受賞という大変名誉な評価をいただくことまでできて，この上ない喜びを感じるとともに，この賞に甘んじることなく，今後さらに力を入れて研究に励もうと思いました。

最後に，多大なるご指導をしていただいた山梨大学大学院附属国際流域センターの西田継先生，坂本康先生，風間ふたば先生，田中靖浩先生，原本英司先生，中村高志先生，松澤宏郎先生，東京大学の近藤尚己先生，北里大学の清和成先生，井上大介先生，さらに協力してくださったすべての関係者の皆様，そして常に応援してくれた家族に心より感謝申しあげます。ありがとうございました。